

医療二一ズ;副作用の少ない放射線治療



医療二一ズ提案部門
滋賀医科大学 附属病院 放射線部

■放射線部ホームページ

http://www.shiga-med.ac.jp/hospital/doc/departement/central_clinic/radiology_dep/index.html

「正確に放射線を患部に照射したい」

■二一ズの背景

- 放射線治療の際、患者が動くと、病巣の位置も変わってしまう。
- 患者の姿勢が変化することはあるし、それ以外でも乳房など固定しにくい部位もあつたり、呼吸によって臓器の位置(例えば肝臓、肺)は変わってしまう。
- 病巣に正確に当たらないと、治療の効果が落ちてしまつたり、病巣の近くにある正常な部分に放射線があたつて副作用がでることがある。

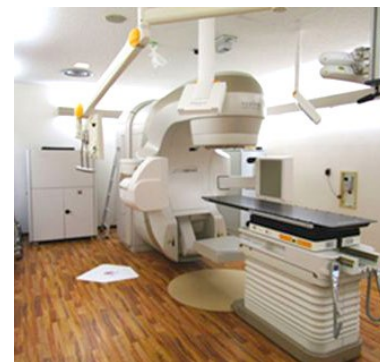
■現在の対応方法

- 固定器具などで患者を固定する
- 患者の体に目印をつけ(二次元的)、そこからずれた場合に、再度患者の姿勢を調整する。

■使用頻度や市場性(マーケットサイズ)に関する情報

- 国内(2012年)放射線治療患者数
推定新規患者数:25,200人、推定実患者数:213,000人
出典: <http://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-10901000-Kenkoukyoku-Soumuka/0000127460.pdf>

【イメージ・参考例】現状の装置



機能アイデア例

- 体動を抑制する機能
- 体動に照射装置が追従する機能
- 自動で照射部位を補正する機能

お問合せ先

滋賀医科大学 研究推進課 産学連携係

電話: 077-548-2847

メール: hqsangaku@belle.shiga-med.ac.jp